

2023年度地方共創プログラム ～地方に学び、自分を知る～

最終発表会

■日時 2023年12月9日（土）13:00～15:00

■実施方法 対面とオンライン（Zoom）のハイブリッド形式
※実施後の録画配信は予定しておりません。

■会場 法政大学市ヶ谷キャンパス
富士見ゲート2階 G201

■プログラム（予定）

- (1) 開会挨拶
- (2) 出席者紹介・プログラム概要説明
- (3) グループ発表（3グループ）
- (4) 講評
- (5) 閉会挨拶

■申込方法

下記申込フォームからお申し込みください。

<https://fs220.xbit.jp/t667/form4/>



※個人情報厳重に管理し、本イベント以外の目的で使用いたしません。

※オンライン参加をご希望の方には、前日までにZoomのURLをご案内いたします。

■申込締切 2023年12月6日（水）

プログラム概要とこれまでの活動

本プログラムは、本学の学生が文献やインターネットによる事前調査、現地でのフィールドワーク、オンラインを活用した地方自治体や地域事業者へのインタビュー等を通して、その地域の魅力と課題の双方を知り、「共に」地域社会を「創る」ことを目的としています。

2023年度は、本学初代総理（現在の総長）梅謙次郎の出身地である島根県松江市を対象地域とし、自治体から提示された以下のテーマに対して、地域活性化の貢献につながる実現可能なプランの企画・提案に取り組んでいます。

<テーマ>

- ①ジオパークを活用した持続可能な社会の実現とSDGs推進
- ②玉湯町の魅力（ヒト・モノ・コト）探求プロジェクト
- ③職人商店街の魅力発信

6月に事前レクチャー・全体ワークショップを行い、その後は個人・グループワークを経て、8月9日（水）～11日（金）に現地フィールドワークを実施しました。学生はテーマごとの3つのグループに分かれ、事前に検討した計画書に基づき、市内の施設や事業者の方々を訪問し、インタビューを行いました。訪問先の皆様は、学生の質問に丁寧に答えてくださるのみならず、調査を後押しするような温かいコメントや体験を提供してくださり、学生もその期待にこたえるべく、熱心にメモを取りながらインタビューを行う様子が印象的でした。直接現地を訪れ、見聞きすることで、地域の魅力や課題を新たに発見するとともに、理解を深める貴重な機会となりました。

その後、フィールドワークで得たことをもとにプランを練り、地元事業者等へのオンラインインタビューを経て、10月2日（月）に中間発表会を行いました。松江市ご担当者からプランに対する率直な感想や意見、提案等が寄せられ、各グループ検討課題を再発見するとともに、最終発表会に向けて、プランの提案準備を進めています。

社会連携教育センターWebサイトにも活動報告を掲載しています。

URL：<http://www.hoseikyoku.jp/shakairenkei/>



<主催>

法政大学教育開発支援機構 社会連携教育センター

TEL：03-3264-4268 E-mail：kyoiku@hosei.ac.jp